

読み書き教材『ここからはじめる漢字100—システムで学ぶ生活に役立つ漢字—』概要

1. 本教材の対象

本教材は、非漢字圏出身者*1で、

- ・簡単な日常会話ができ、ひらがなやカタカナは読めるが、漢字はほとんどわからない人
- ・漢字が少しわかるが、ただがむしゃらに覚えてきただけで、学んだ内容が定着していない人

を主な対象とする。



※1：非漢字圏出身者…出身国や母語、文化背景などによって、漢字の予備知識がない人

2. 本教材の目的

「まちなかの看板」「学校などから配布されるお知らせ」そして「災害情報」など、実に多くの文字情報によるやり取りがなされる社会において、「読み書き」ができないことは、大きな不利益を被る可能性をはらんでいる。また、何か情報を得たい場合に、全て周囲の人に頼らなければならないというのは、成人である外国人にとって極めて不本意な状況だと言える。識字教育の大きな目的は、外国人がこのような状況から脱却し、「子どもの教育に主体的に参加する」「職業を自ら選ぶ」など、社会に主体的に参加することができるようになることだと考えられる。

しかし、特に非漢字圏出身者の中には、漢字数の多さや漢字の字形の複雑さなどによって、たとえ漢字学習を始めたとしても途中であきらめてしまうという人が多い。また、「一人では学習を続けられない」という外国人の声もよく聞かれる。継続的な学習のためには、漢字学習の初期の段階において漢字や漢字語の体系を学ぶこと、そして、学習に寄り添ってくれる良きサポーターを得ることが重要だと考えられる。

本教材の目的は、外国人が、サポーターの助けを借りた識字活動を通して、「漢字を続けて勉強していくための基礎を作ること」である。

このために、外国人が、

- 1) 漢字の成り立ちや漢字語の語構成などの、基本的な“漢字のシステム”を理解する
- 2) 生活でよく使われる漢字や、他の漢字の構成要素となっている基本的な漢字 100

字がわかるようになる（まずは意味がわかるようになることを目指します。書けるようになることは、必ずしも必要ではありません）

3) 漢字や漢字学習に興味を持つ

ことを目標としている。

なお、本教材は、外国人がサポーター（ボランティア）の助けを借りながら学習を進める場合にも使えるが、専門家の日本語コーディネーターが全体の学習活動を進行する中で、外国人とサポーターが教材を用いて学習を行うという形の方が、より効果的だと考えられる。

3. 教材の内容

1) 全体構成・・・p.3～p.4 参照

教材の全体構成

課	見出し	内容	各段階の目的	ページ
	この本をつくったわけ	<ul style="list-style-type: none"> 外国人にとっての識字に関する状況 本教材の特徴 	本教材を用いて、外国人の識字学習をサポートする支援者（＝サポーター）が、本教材の特徴や目的、各課の構成とその使い方を理解する	p.1
	この本を作って外国人をサポートするみなさんへ 1. どんな人のための本？ 2. この本の目的は？ 3. それぞれの課の構成は？どうやって使ったらいい？ 4. サポートのコツ	1. 本教材が対象とする外国人 2. 本教材の目的 3. 各課の構成とその使い方（本教材を用いた識字活動の方法） 4. 識字活動をサポートする際のこつ		p.4～p.9
0	漢字のはなし	漢字に関する基本的な知識 <ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちの例 基本的な点画とその書き方 漢字の音訓 	外国人が漢字の学習を始めるにあたり、前もって知っておいた方がいい基本的な知識を確認する	p.10～p.12
1	絵からできた漢字（1）	漢字のシステム：象形文字 生活素材：申込書を書く、ATM の休止時間や手数料の案内を読む	外国人が、 <ul style="list-style-type: none"> 基本的な漢字のシステムを理解する 	p.13～p.23
2	絵からできた漢字（2）	漢字のシステム：象形文字、指事文字 生活素材：食品の表示を読む、スーパーの店内案内図を読む	<ul style="list-style-type: none"> 各課の漢字のシステムに関わる漢字と漢字語を覚える 漢字や漢字語が生活の中でどのように用いられているかを理解する。 	p.24～p.34
3	“意味＋意味”の漢字	漢字のシステム：会意文字 生活素材：営業時間の案内を読む、求人のお知らせを読む	また、これらを通して、識字学習に対する興味を持ち、継続的な学習につながるような学習意欲を持つ。	p.35～p.45
4	“時”の漢字	漢字のシステム：「時」に関わる漢字語に用いる漢字 生活素材：資源回収のお知らせを読む、ごみカレンダー		p.46～p.57

		ーを読む		
5	“へん+つくり”の漢字	漢字のシステム：部首が「へん」の漢字 生活素材：電気製品のボタンなどの表示を読む、電気製品の説明書を読む		p.58～p.71
6	“かんむり+あし”の漢字 / “たれ”の漢字	漢字のシステム：部首が「かんむり」「たれ」の漢字 生活素材：天気予報を読む、電気料金の請求書を読む、薬の袋の表示を読む		p.72～p.85
7	“かまえ”の漢字/ “にょう”の漢字	漢字のシステム：部首が「かまえ」「にょう」の漢字 生活素材：インターネット通販の表示を読む、工事案内の看板を読む		p.86～p.98
8	“音”が同じ漢字	漢字のシステム：形声文字 生活素材：各種案内の看板を読む、車検のチラシを読む		p.99～p.111
9	“動詞”の漢字/2つの漢字のことば	漢字のシステム：「動詞」の漢字語に用いる漢字、熟語の語構成 生活素材：料理教室のチラシを読む、スケジュールをカレンダーに書き込む		p.112 ～ p.125
10	ことばの前や後ろにつく漢字	漢字のシステム：接辞の漢字 生活素材：避難所の案内を読む、チラシを読む、駐車場の案内や料金支払い機の表示を読む		p.126 ～ p.136
	さくいん	本教材で取り上げている漢字の音訓索引	主に、外国人を支援するサポーターが各漢字がどの課で取り上げられているかを調べる。	p.137 ～ p.149
	活動で使おう ーカードと生活素材ー	活動で用いるカードと素材 ・漢字カード（第4課・第9課用） ・生活素材：ごみカレンダー（第4課用）、DVDレコーダーの説明書（第5課）	第4課、5課、9課の活動を行う際に用いる。	

2) 各課の構成

各課は以下の内容で構成されている。

見出し	内容	目的
1 知っていますか	当該課で学習する漢字が含まれた、身の回りで使われている生活素材	・漢字に興味を持つ
2 今日のポイント	当該課で学ぶ漢字のシステムの提示	・当該課で学ぶ漢字のシステムを確認する
3 漢字の意味と読み方を覚えましょう	当該課で学ぶ漢字と漢字語のリスト	・当該課で学ぶ漢字と漢字語の意味と、漢字の音訓を学ぶ
4 練習しましょう	当該課の漢字のシステムや漢字に関わる練習	・各タスク（練習）に取り組みながら、当該課の漢字のシステムや漢字を覚える
5 書きましょう	漢字の筆順と、書き練習を行うための枠	・漢字の書き方を学び、漢字を書く練習をすることで、字形を覚える
6 生活の中の漢字	当該課の漢字が含まれる生活素材と、それに関わる質問	<ul style="list-style-type: none"> ・各漢字や漢字語が、生活の中でどのように用いられているかを確認する ・当該課の漢字を覚える ・生活素材から必要な情報を読み取るコツを学ぶ ・既知の漢字などから、生活素材の内容を推測する力をつける
7 作文	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なトピックで書かれたモデル作文（当該課の漢字が含まれる）と、その内容確認のための質問 ・自身の作文に書く内容のアイデアを得るための質問と、作文を書くための罫線 	自身のことを、漢字を使いながら作文に書くことで、漢字語の使い方を学んだり、漢字を覚えたりする。

3) 教材例

1課 絵からできた漢字 (1)

① 絵からできた漢字 (1)

1. 知っていますか? - 富士山の有名な場所 -

宇奈月温泉 立山 雪の大谷

(1) ここはどこですか。
(2) 知っている漢字はありますか。

2. 今日のポイント (絵からできた漢字 (1))

手 → 月 → 月
火 → 火 → 火

13

1. 知っていますか

2. 今日のポイント

1課 絵からできた漢字 (1)

5. 書きましょう
漢字を1つずつ書きましょう。繰り返し練習しましょう。

日	丨	冂	月	日			
日							
月	冂	月	月	月			
月							
火	丨	冂	少	火			
火							
水	丨	オ	オ	水			
水							
木	一	十	木	木			
木							

17

5. 書きましょう

1課 絵からできた漢字 (1)

3. 漢字のいみと読み方を覚えましょう
このはの読み方を覚えてください。

漢字	読みかた (よみのかた)	読みかた (よみのかた)
1 日	4 日	日曜日 平日
2 月	月	月曜日 1が月 3月
3 火	火	火曜日
4 水	水	水曜日
5 木	木	木曜日
6 金	お金	金曜日
7 土	土	土曜日
8 山	山	火山 山菜
9 川	川 黒部川	
10 田	田んぼ	
11 人	人	日本人 3人

山菜

14

3. 漢字の意味と読み方を覚えましょう

1課 絵からできた漢字 (1)

6. 生活の中の漢字

①ポイントカード

これは何? 何? 何?

スーパーグループ POINT CARD
000011106677
スーパー

◆自分のことを書きましょう

ポイントカード 申込書

記入日	H	年	月	日
フリガナ				
お名前				男・女
生年月日	T	S	H	年 月 日
ご住所	〒 -			
電話番号				

20

6. 生活の中の漢字

1課 絵からできた漢字 (1)

4. 練習しましょう
①毎日の漢字を 写してください。

水 木 月 火 日 金 土

2011年 10月

						日	
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

②漢字の読みを覚えてください。

日 田 火 人 山 月 川 金 水 土 木

16

4. 練習しましょう

1課 絵からできた漢字 (1)

7. 作文 - 日記 -

9月8日 木曜日 くはれ>

きのう、かぞく3人で 富士山の噴水公園へ 行きました。噴水公園には たくさん人が いました。わたしは 子どもと一緒に さんぽしました。それから、木の 下で ベンとうを 食べました。とても、楽しかったです。また、行きたいです。

◆文章を読んで、書きましょう

(1) この人はどこに行きましたか。
(2) この人は何をしましたか。

◆ワーカーと一緒に読みましょう (材料)

(1) あなたは日記を書いたことがありますか。
(2) 読みかたを覚えてください。どこに行きましたか? 何? どうだった?

◆読んだことについて、日記を書きましょう

ワーカーのみなさんへ! ワーカーも自分のことを書いて、書きましょう。それを先生や参加者と一緒に読んでみてください。

23

7. 作文

4) 「チャレンジしよう」について

本教材は、「漢字が少しわかるが、なかなか定着しない」という人が漢字のシステムを勉強するのに役立つようになっている。

各課の「3. 漢字の意味と読み方をおぼえましょう」「5. 書きましょう」「6. 生活の中の漢字」には、「チャレンジしよう」のページがついている。「3」では、基本の漢字を用いた多少難易度の高い漢字語や、基本の漢字以外の漢字を学ぶことができる。「5」では、「3」の「チャレンジしよう」で取り上げた漢字の書き練習ができる。また「6」では、「回覧板を読む」「問診票を書く」など多少難易度の高い生活素材の読み書きを練習することができるようになっている。

5) 「サポーターのみなさんへ」について

活動を行う際にサポーターが円滑に学習支援ができるよう、「サポーターのみなさんへ」として活動のポイントを示した。

例: 「チャレンジしよう」のページ

チャレンジしよう!

1課 給からできた漢字(1)

③回覧板

かいらん回覧

サポーターのみなさんへ:
p.9 が早く終わった人だけ、やってください。

平成23年10月25日
玉山町内会

町内児童クラブ バス遠足のお知らせ

晩秋の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、例年、行っております町内児童クラブの遠足についてご案内いたします。

「サポーターのみなさんへ」